

# 5章 県庁のしくみと仕事

## 1 県庁のしくみ



神奈川県議会

### 神奈川県議会

神奈川県には105人の県議会議員がいて、県内でのきまりをつくり、県がどのような仕事をするか、どのようにお金を使うかを話し合っています。県議会議員は、4年に一度、18歳以上の人の選挙で選ばれます。



国の重要文化財である神奈川県本庁舎

### 神奈川県知事

県民の生活をより良くするために、県議会と話し合いながら県の仕事を進める責任者です。4年に一度、18歳以上の人の選挙で選ばれます。

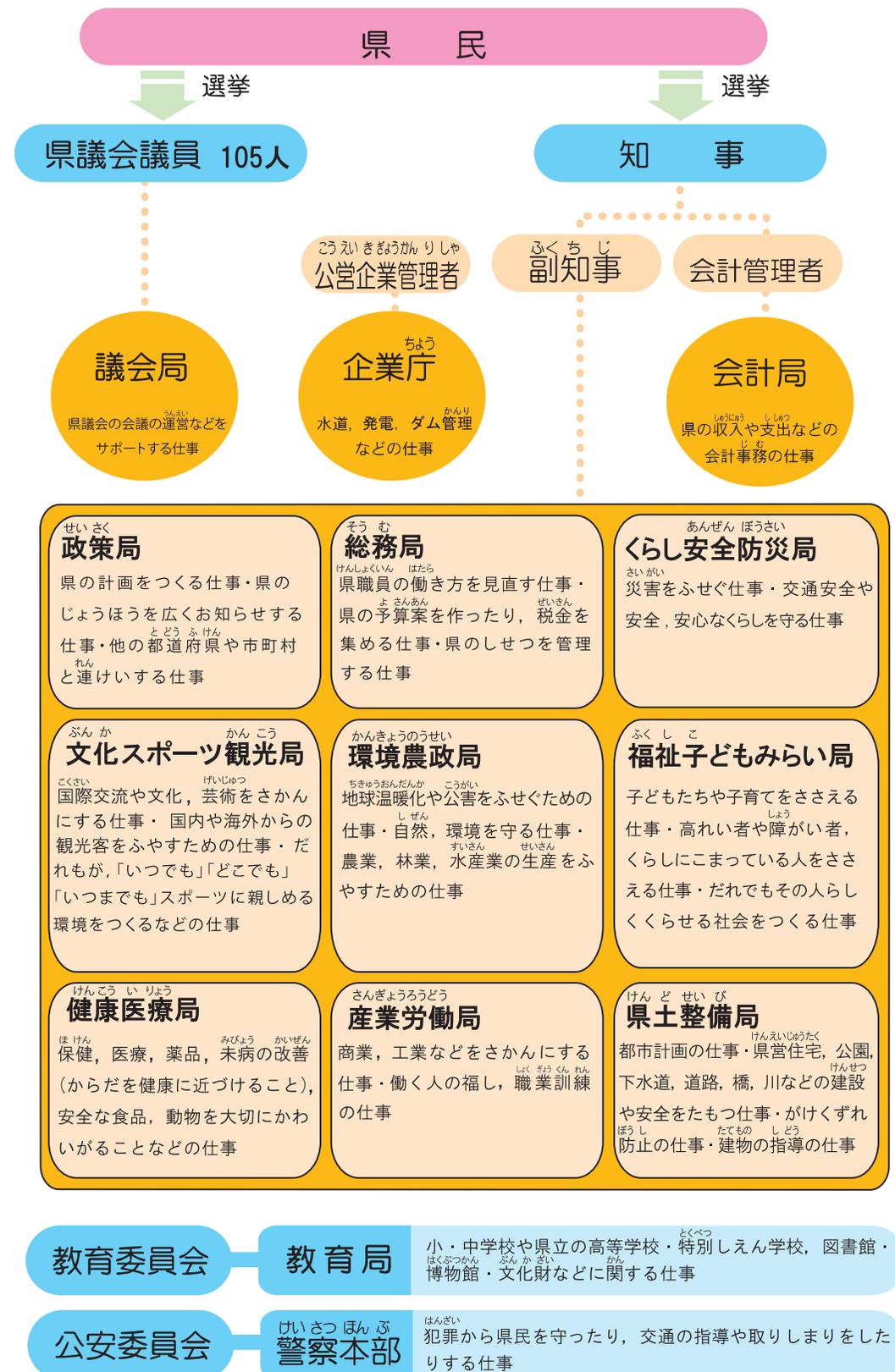
### 行政委員会（委員）

より中立の立場で仕事をするために、何人かの委員が話し合いながら仕事をします。教育委員会や公安委員会など、9つの行政委員会（委員）があります。

県庁にはどのような仕事があるのかな？



## 神奈川県庁の主なしくみ



わたしたちのくらしを良くするために、県と市町村は役割を分担して、仕事をしています。市町村では、ごみの回収や消防などのように、わたしたちの毎日の生活にかかわる身近な仕事をしています。県では、山や川の災害をふせぐなど、一つひとつの市町村ではむずかしい大きな仕事や、広い地域にわたる水道や下水道をつくるなど、いくつもの市町村にまたがるような仕事をしています。

県ではこんな仕事をしています

みなさんの家にきれいで安全な水を送っています。

(じょう水場の人の話)

じょう水場では、川の水をきれいにして水道の水をつくっています。台風や、大雨で川の水がにごっても、いつでもきれいな水になるように24時間つねに注意して水道の水をつくり、みなさんが安心して飲めるように送りとどけています。



安全に道路を通れるようパトロールや工事を行っています。



(土木事務所の人の話)

みなさんが安心して道路を通れるように歩道を作ったり、高れい者や障がいのある人が通りにくい歩道があれば段差をなくしたりして歩きやすくなるよう工事を行っています。また、パトロールをして、道路にあながあいていれば、うめる仕事をしたり、古くなった橋がこわれないう、点検や工事をしたりしています。

みなさんの安全を守っています。

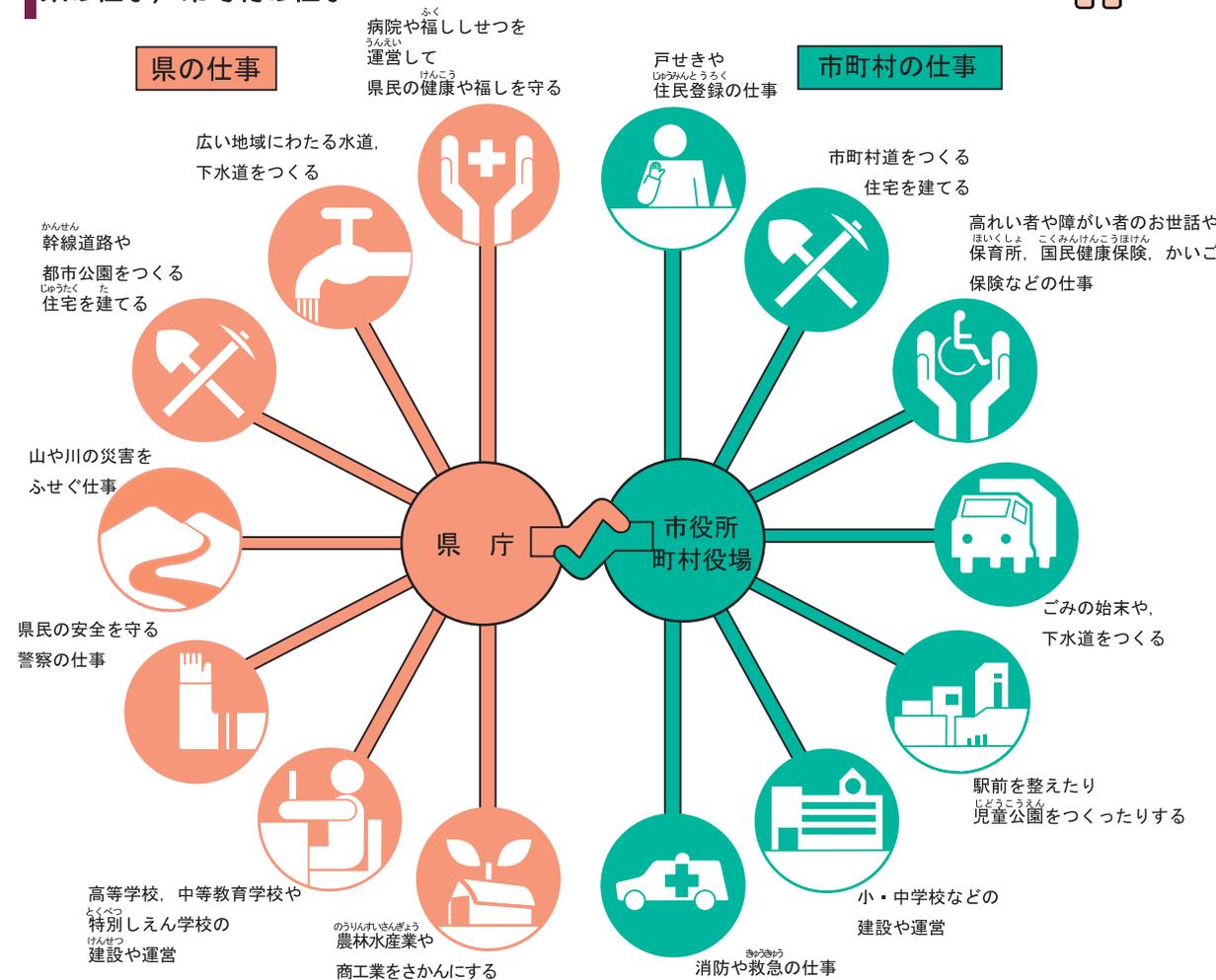
(交番の警察官の話)

24時間、まちの安全を守っています。学校へ通うみなさんの安全を守るため交通整理をしたり、落とし物の受け付けや道にまよっている人に道案内をしたりします。また、まちの中をパトロールして、こまっている人を助けたり、どろぼうをつかまえたりしています。



県の仕事, 市町村の仕事

他にも県と市や町や村はどのように仕事を分担しているのかな。



他の都道府県で災害が起きた場合にも、県と市町村は協力することにしています



ひなん所の運営の手伝い

地しんや大雨などで大きな災害が起こり、ひ害にあった地域だけでは対応しきれなくなった場合に、県は、ひなん所の運営を手伝

たり、水や食べ物をとどけたりなど、ひ災地へおうえんに行きます。また、県だけでは人やものが足りないときは、県内の市町村と協力しておうえんをすることもあります。

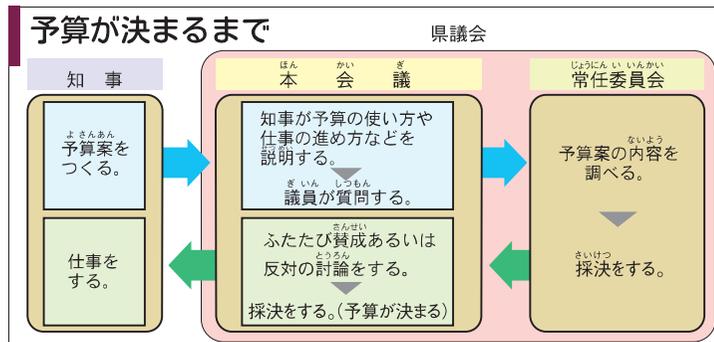
### 3 県の財政

県では、県民のみなさんのために、いろいろな仕事をしています。それにはたくさんのお金が必要になります。そのお金のほとんどは、税金として県民のみなさんや会社がおさめています。どのような仕事に、どれくらいのお金を使うかという計画を知事と県議会で決めます。これを予算といいます。2025年度（令和7年度）当初の予算は2兆2,158億円です。

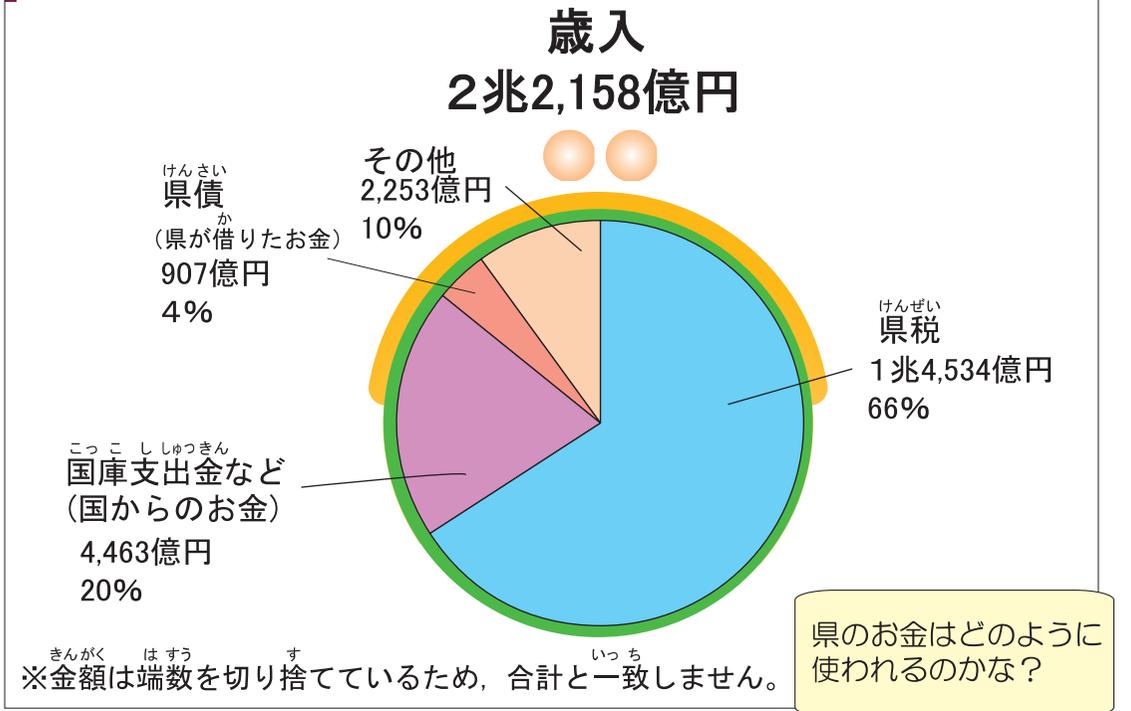
県に入ってくるお金の内訳を見ると、県の税金が66パーセント、国からのお金が20パーセントで、県が使うお金の86パーセントは、県の税金と国からのお金でまかなわれています。

また、県のお金の使い方をみると、公立の小学校、中学校、高等学校の先生などの給料や、高等学校の建物を建てかえることなど、学校教育のために多くのお金が使われています。

さらに、高れい者や障がいのある人の福祉や、安全なくらしのための活動、道路や住宅などの建設、産業をさかんにすることなど、いろいろなところで県民のみなさんのくらしを良くするために使われています。



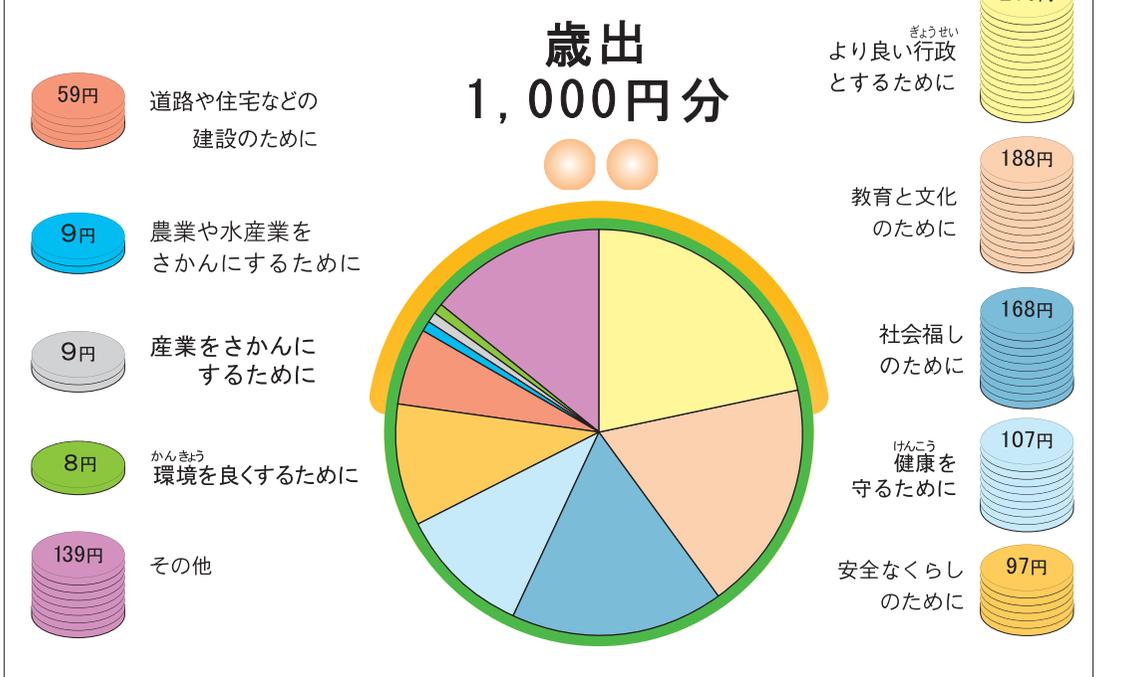
### 県に入るお金（歳入）（2025年度）



県のお金はどのように使われるのかな？

### 県が使うお金（歳出）（2025年度）

県が使うお金を1,000円とすると、このようになります。



※歳入と歳出は、2025年(令和7年)4月時点のものです。